

事例番号:380145

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第一部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 1 日

15:45 妊婦健診で受診、超音波断層法で羊水過少を認め胎児機能不全の診断で入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 37 週 1 日

17:23 胎児機能不全の診断で帝王切開により児娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 1 日

(2) 出生時体重:2900g 台

(3) 臍帯血ガス分析:pH 7.34、BE -1.5mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 7 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 4-5 日 血液検査でヘモグロビン、ヘマトクリット値の低下あり

生後 7 日 血液検査でヘモグロビン 10.9g/dL、ヘマトクリット 32.7%と貧血あり、赤血球輸血実施

(7) 頭部画像所見:

生後 12 日 頭部超音波断層法で左側頭葉優位に出血所見あり

生後 8 ヶ月 頭部 MRI で大脳の広範囲で出血後の陳旧性変化を認める

## 6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 4 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ: 助産師 3 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、出生後に生じた児の頭蓋内出血であると考ええる。

(2) 頭蓋内出血の原因は不明である。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

妊娠中の経過は一般的である。

### 2) 分娩経過

(1) 妊娠 37 週 1 日の妊婦健診で羊水過少を認め、胎児機能不全と診断し、帝王切開術のため入院としたことは一般的である。

(2) 帝王切開決定から約 3 時間後に児を娩出したことは一般的である。

(3) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

出生後の対応 (酸素投与)、および新生児呼吸障害、低血糖のため高次医療機関 NICU に搬送したことは、いずれも一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。